

排ガス中ダイオキシン類迅速測定法について

株式会社 九州テクノリサーチ



概要

- ・ 北九州市環境科学研究所、福岡県保健環境研究所、(株)SBC テクノ九州と共同開発（特許出願中）
- ・ 試料採取後、**数時間で測定可能**（公定法は約1ヶ月）



テナックス樹脂による試料採取風景



TDS-GC/MS

特長

- ・ **高精度、高感度**
（ $0.1\text{ng-TEQ}/\text{m}^3_{\text{N}}$ が評価可能）
- ・ **短納期**（数時間～）
- ・ **低コスト**（サンプリング及び分析コストを大幅に低減）

測定方法、装置

試料採取

テナックス樹脂による固体捕集

前処理

不要（採取後、樹脂の乾燥のみ）

分析

加熱脱着 - ガスクロマトグラフ質量分析法

加熱脱着部：GERSTEL 社製 TDS

ガスクロマトグラフ部：Agilent 社製 6980A

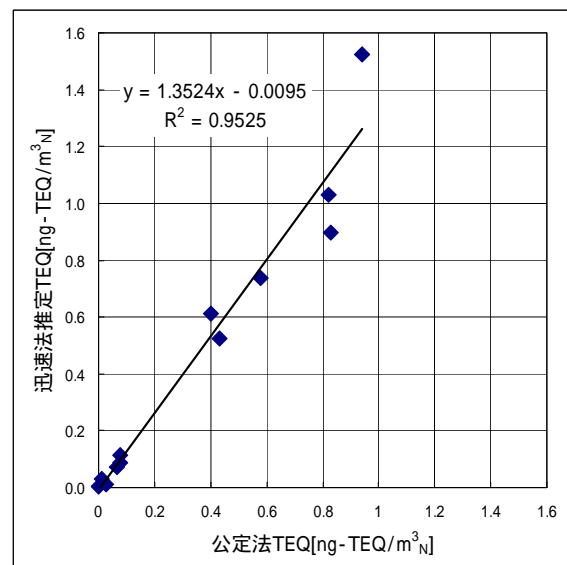
質量分析計：Agilent 社製 5973N

定量

5塩素化ジベンゾフランとを指標異性体とした
毒性等量推定

公定法(JIS K0311)との比較結果

大型都市ごみ焼却炉（9炉、N=13）において、本迅速法と公定法で併行測定を行った結果、下図のような良好な相関が得られた。



お問い合わせ先

(株)九州テクノリサーチ 環境営業グループ 黒岩
TEL 093(872)5401 e-mail kuroiwa@k-t-r.co.jp